

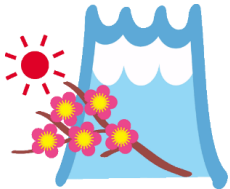


# にしはら

1月号

渋谷区立西原小学校

## 今年の漢字は、「伸」



新年、明けましておめでとうございます。

今年も西原小学校をよろしく願いたします。

校長 手代木 英明



昨年の漢字は、「安」でしたが、西原小学校は、今年の漢字を「伸」と決めました。今年の干支は「申」（さる）です。「申年に西原小学校の一人一人が頑張る。」そうすると、申に「にんべん」が付いて「伸」となるわけです。では、人が伸びるために、すべきことは何でしょうか。それは、一人一人が具体的な目標を立てて、努力することです。

このことは、箱根駅伝で2連覇を果たした青山学院大学の取り組みが参考になります。青山学院大学は、出雲駅伝で優勝し、その後の全日本大学駅伝、箱根駅伝と3大会完全優勝が確実視されていました。しかし、全日本大学駅伝では、山の神でキャプテンの神野選手の故障もあり、まさかの2位になってしまいました。そこで、原監督は2時間に及ぶ緊急ミーティングを開いたそうです。その後、自己ベストを出す選手が続出したわけですから、全日本大学駅伝で負けたことで、選手一人一人が「勝つためにはどうするか」という目標を立てて練習に取り組んだ成果が出たと言えます。

つまり、与えられた目標ではなく「自分で決めた目標」をもたせることが大切なのです。教師や親は、子供をその気にさせることがポイントです。そのために・・・

- ①その子に合った目標設定をさせる。→高すぎたり低すぎたりする目標は、意味がありません。
- ②具体的に何をするかを決める。→「ここを頑張ればできる。」というのがベストです。
- ③できる喜びを味わわせる。→達成感を味わわせる評価の言葉をこまめにかける。

平成28年、申年に西原小学校の子供たち全員が伸びるように、学校と家庭が連携して、主体的に取り組む子を育てていきましょう。

## ユーちゃん頑張れ！

12月16日（水）スポーツセンターでウィルチェアーラグビー（車いすラグビー）の公開練習がありました。その様子を3年生が見学して、体験活動をしました。ウィルチェアーラグビー日本代表は、リオネジャネイロ・パラリンピックに出場が決まっています。競技用の車いすは、頑丈にできていて小回りが利きます。ぶつかることが許されているので、猛スピードで車いすが衝突する迫力が凄かったです。

子供たちは、ウィルチェアーラグビーのルール説明を受けてから、実際に競技用車いすに座って、峰島選手からタックルを受ける体験をしました。もちろん、ゆっくりタックルしてくださっているのですが、子供たちは衝撃と音にびっくりしていました。練習試合では、交流した選手に「ユーちゃん」と声をかけていました。障がいのことなど関係なく、交流できたことは素敵なことだと思いました。渋谷区は、東京オリンピック・パラリンピックを応援しています。これからも、西原小学校はこのような交流活動やボランティア活動に積極的に参加していきます。皆さんもウィルチェアーラグビー日本代表を応援してください。



タックルの体験をしているところ